

令和4年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る事後評価結果

領域番号	4905	領域略称名	脳情報動態
研究領域名	脳情報動態を規定する多領域連関と並列処理		
領域代表者名 (所属等)	尾藤 晴彦 (東京大学・大学院医学系研究科・教授)		

(評価結果)

A (研究領域の設定目的に照らして、期待どおりの成果があった)

(評価結果の所見)

本研究領域は、神経生物学、光遺伝学、情報工学の融合により、脳内における膨大な情報処理システムを明らかにすることに加えて、マクロで見た脳の領域間やマイクロで見た領域内の神経回路の情報の流れを先進的な実験技術を開発して計測データを得ることで、脳の動作原理の解明を目指した研究領域である。分子レベルからシステム脳科学にわたる幅広いスペクトラムの脳科学と情報科学の有機的連携により、多くの優れた研究成果が得られたことは高く評価できる。加えて、汎用人工知能の構築や脳情報フローを段階を追って情報科学に落とし込む試みも評価できる。研究領域の目的に照らして、期待どおりの成果があったと評価される。

今後、脳科学と情報科学という異なる専門分野の若手研究者同士が本研究領域で得られた経験や基盤を生かし、互いの分野の知見を継続的に共有していくことで、脳の複数領域の連携による非同期並列情報処理に関する統合的研究をより一層発展させていくことが期待される。